



定員 10 人に指導者が 3 人の体制で  
離れてきめ細かく  
3月9日<織物をしよう>

## 3密を避けて思いをつたえあう工夫

新型コロナウイルスにより学校が休校となったり他の大規模な催しが中止になったりしていたなかで、今年3月2つの手仕事講座<織物をしよう><木工作教室>は少人数制をとっているため、活動を実施することができました。が、?「3密を避けて思いをつたえあうことは可能か」?という今まで以上の工夫を必要とするものでした。子どもたちの成長に必要な手仕事を伝え、一人ひとりが満足する作品を作るだけでなく、「作業する仲間とのまなびあい」を大切に活動したいと思うからです。

3月9日<織物をしよう>は声掛けを多くとったり発表の時間を多くとりましたが、なるべく遠くから関わらなければならなかったり、全員がマスクをつけているためほかの人の表情がよく見えないなかで思いを伝え合うことは難しいと感じる点もありました。

その経験から、3月26~29日<木工作教室>は、作りたいものの聞き取り、設計・材料・デザインの打ち合わせ、思いのやりとりをいつも以上に密にして当日をむかえました。木工作をしたことがない子どもたちほど無理なことを考えますが、思いもかけないほどすぐできるアイデアを思いついたりもするものです。こうしたらできるという道筋を伝え、安心感とめあてを持って納得して作業をしていくなかで、イメージを共有して、手仕事の楽しさや必要性も伝えることができるとあらためて確信することができました。

最後の合評会だけでなく、はじめや途中もそれぞれのしようとしていることを紹介し、合評会で自分の作品の意図やほかの人のよかったことを語り合い思いを伝え合うことができました。困難な時期に自分から発した思いを実現し、伝え合ったよろこびはきっと心に残っていくと思います。子どもたちの成長を見まもるうえでも毎年継続して指導して下さる講師や運営委員会の存在はありがたいものでした。



一人ひとりの思いを大切に活動し、  
始めや途中、最後の合評会で  
子どもたちの間を広く開けて活動  
思いを伝え合いました。

3月26~29日<木工作教室>



講師もなるべく離れて指導しました

5月からの手仕事講座6つは4ヶ月延期して実施します。参加を希望して下さった方・講師・協力者・運営委員会・支援して下さる機関がすでに動き出して3月末からの変更につぐ変更でしたが、皆さんがこの活動を大切に考えてくださり、こころよく協力して下さいました。本当にありがとうございました。

4ヶ月延期したなかの2か月は計画変更に追われましたが、「親密な語り合いの大切さがあらためてわかった」ほかにも得たものがありました。毎週通ってくる子どもたちと、いつもよりずっと落ち着いて自然の変化を見つめることができました。

自然を見つめていくことで子どもたちの声にならない不安が少しでも和らぐことを願って、毎週一人ひとりが一つの枝、山などを見つめてスケッチしていきました。まだ葉のない枝、芽吹いた枝、いっぱい葉をつけた枝、雨にゆれる枝、花をつけた枝、花がおちた枝。微妙な変化のなかに大きな季節の移ろいを感じたことでしょうか。季節の移ろいは季節ごとに描いていくだけでは感じにくかったのだと気づきました。

国ごと地域ごと家族ごとにも対策の違いがあることが子どもたちにもわかって、したいこととしなければならないことの折り合いをつけ、自分でどの方法をとるかを決めなければならないことがありました。さらに自分やまわりに見える範囲の人のためだけでなく、もっと広い見えない世界への連帯のようなものを感じて少し広い視野に立てたのではないのでしょうか。

「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」（宮澤賢治 1926年農民芸術概論綱要より）新型コロナウイルスの影響下の私たちの心得でもあります。

## 第22回「明野子ども美術館の賢治祭」では

1999年第一回目に上演した宮澤賢治作 童話〈セロ弾きのゴーシュ〉を上演します。拙い演奏をするゴーシュが毎晩入れかわり訪れる猫、かっこう、たぬき、ねずみと演奏するうち、表現の真髄にふれ上達する楽しいお話として宮澤賢治作品の中でも最も有名な作品の一つですが、それぞれのエピソードが22年前には気づかなかった自然や仲間から学ぶ大事な意味を持っています。

いままでの成果をふりかえることと、新しい方向を探るプログラムを計画しています。（21年間続けてきた「物語にちなんだお菓子やお茶を飲みながら」という形式をとれるといいなあ）朗読、音楽、衣装、などをもとに気軽に思いを語りあいたいと思っています。講演して下さるのは「賢治が聴いたクラシック」（小学館刊）編集者横山英行さんです。朗読指導の永田京子さんからも、このお話には「自然から学ぶということや芸術の表現のための要素がたくさんある」とうかがっています。

童話〈セロ弾きのゴーシュ〉を糸口として、現代の視点から賢治作品をたのしんでいきます。ぜひみなさまの感想をおきかせください。活動にいかしたいと思います。今年もまた自然や文化をたのしむ旅にでかけましょう。

2020年6月 明野子ども美術館 代表 松崎春子

### 運営委員会より

昨年度も会員の皆様のカンパとご協力で充実した活動を行うことができました。今後とも明野子ども美術館の活動をご理解いただき、カンパと会員継続をお願いいたします。

明野子ども美術館運営委員会一同

カンパと会費 振り込み郵便口座

ゆうちょ銀行からは 00210-4-027186 アケノドモビジュツカン

ゆうちょ銀行以外からは ゆうちょ銀行〇二九店当座0027186 アケノドモビジュツカン

〈明野子ども美術館の賢治祭〉音楽CDも好評発売中！あわせてお申込みください。2000円です。そのうち15%は東日本震災支援活動に使わせていただきます。